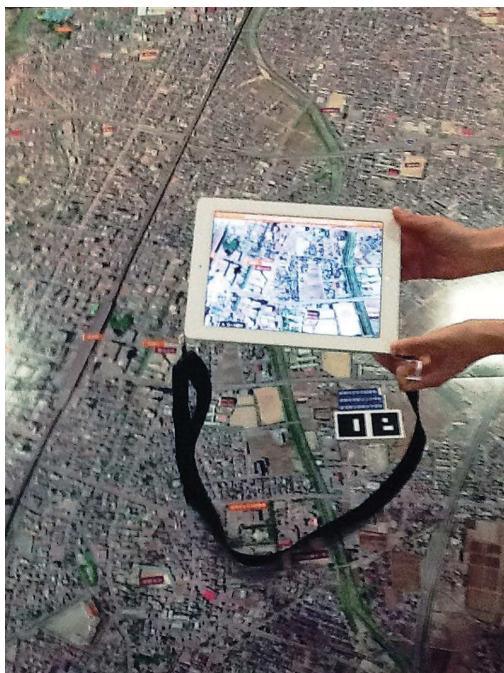


iPad でつなぐ「あの時」の記憶—新潟県長岡市



左：写真① iPad + AR を体験できる床面地図

床面の空中写真の目印を iPad 越しに見ると案内が表示される。

右：写真② iPad + AR を体験できる床面地図

震源地付近の地形について議論する新潟県高校地理部会の皆さん
(2012 年 8 月 21 日 筆者撮影)

長岡駅前の商店街にある「きおくみらい—長岡震災アーカイブセンター」は、オフィスビルの2階の1フロアを使った防災教育スペースである。

何より目を引くのはフロアの半分以上を使った空中写真である。震災発生数日後に緊急撮影されたという写真の上には要所毎に印が打たれている。実はこの印は AR (Augmented Reality = 拡張現実) を使った展示である。無料で貸出ししている携帯端末「iPad」越しに写真と目印を覗くと文字や立体画、動画等が再生される (写真①・②)

2004 年 10 月 23 日午後 5 時 56 分、新潟中越地震が発生した。長岡市周辺、とりわけ山間部で甚大な被害をもたらした。地図を囲む人の「あの時」の話題は尽きない (写真②)。

地形図やハザードマップ、標高区分図などを GIS で作成し、Google Earth 経由で取り込むことで、野外での防災教育が可能である (図①・②)。地震、水害、雪害、そして戦災と、あらゆる災害に見舞われつつも、その都度不死鳥のごとく立ち上がってきた長岡。ずらりと揃った 40 台の iPad の活用法を探っていききたいものである。

KMZ 洪水時の写真

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/001.kmz>

洪水時の動画

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/002.kmz>

新潟県の高齢者人口

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/003.kmz>

浸水域実績図

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/004.kmz>

地形図

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/005.kmz>

町丁目人口

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/006.kmz>

町丁目別世帯人口

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/007.kmz>

標高区分図 1

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/008.kmz>

標高区分図 2

<http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/102/009.kmz>



図1 「平成 23 年新潟・福島豪雨」浸水実績図（位置を合わせて iPad 版 Google Earth 上に表示）
 新潟県長岡地域振興局（2011）：「平成 23 年新潟・福島豪雨による長岡地域整備局管内の被害と復旧状況（第 5 報）」
http://www.pref.niigata.lg.jp/nagaoka_seibi/1330549262850.html

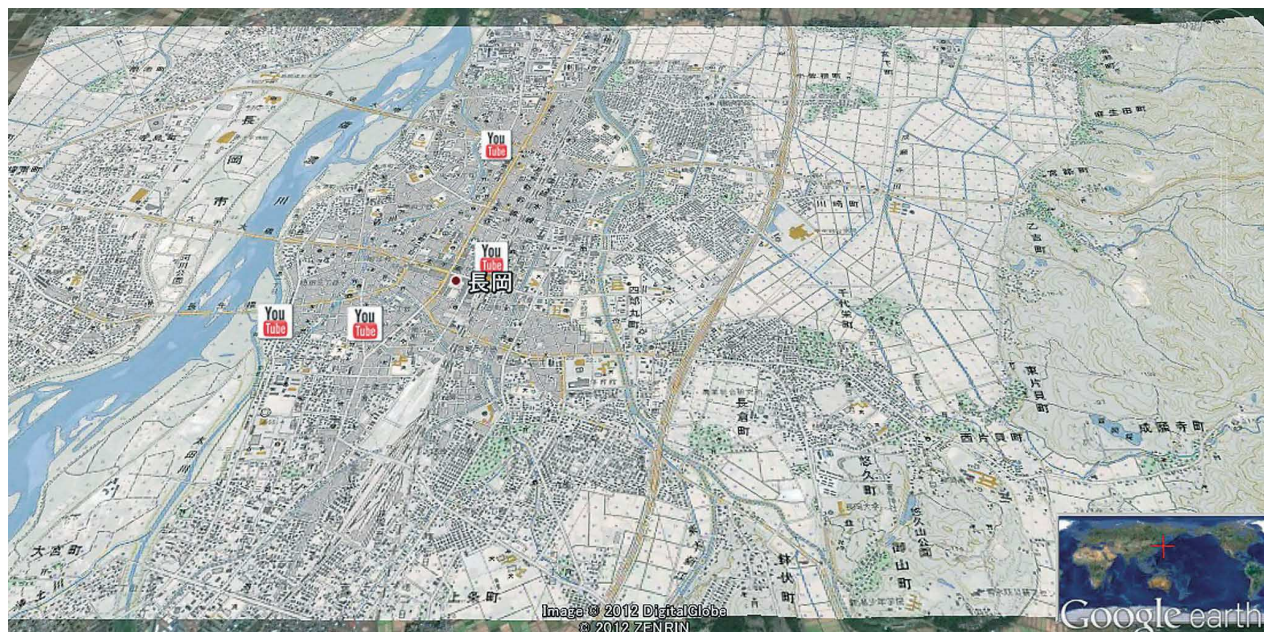


図2 地形図と動画の重ね合わせ（筆者試作）
<http://www.itochiri.jp/nagaokabosai/>